

村田峰次郎 （維新史家、書家。安政四年七月長門國生乳、昭和二十年十一月二十九日歿（八七一）九四）。 舊姓大津、諱春信、字貞卿。號柳外、柳外漁莊、漁春信、春雨、春雨居士、春雨閣、聽秋、聽秋草廬等。藩賢明倫館の塾生、維新後上京して東京外國語學校卒。大政官に入らば官報編輯の携はり、のち毛利家家史編纂所を主宰した。大正十年維新史料編纂會常任委員となる。書の通じ、漢詩、和歌、俳諧を能くして『春雨居士の吟稿』（昭和十六年二月無刊記）を遺した。

『長門業書解題目錄』（明治二十五年八月二日裕垣將三郎刊）、『啓運録』（明治二十年十一月二十日尊徳堂藏版、京都・田中治共編刊）等々編輯出版した他、『乃木將軍傳』（大正四年六月五日水竹書院）、『防長文化史概略』（昭和十六年八月二日防長俱樂部）等々著はす。

